

.NET
Architecture
ForumSQL Server Reporting
システム集中講座

第2回

帳票 / データ分析 / グラフのレポート作成

百田 昌馬 *HYAKUTA, Shoma*
<http://www.ittraining.jp/>

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

業務で使える レポート作成

今回は、レポートウィザードを使って単純な商品カタログを作成する手順を説明した。テーブル（表）形式のレポートを作成し、グループ化や書式設定、スタイル変更、集計値、見出しマップの追加などを行なった。また、レポートをレポートサーバーへ配置してWebブラウザから参照、PDF/Excel形式へのエクスポート、キャッシュ/スケジュール配信の設定、Accessレポートのインポート機能についても説明した。

今回は、帳票やデータ分析レポート、グラフレポートといったより実践的な

レポートの作成手順を説明する。ぜひ実際に試しながら読み進めてほしい。

帳票の作成

図1のような請求書や納品書、見積書、注文書といったマスター/詳細形式の帳票は、レポートウィザードでは作成できない。このため、レポートはイチから手で作成しなければならない。とはいえGUIベースで簡単に作成できるので、以降ではその手順を説明していく。

図1：請求書

商品名	数量	単価	金額
01 Queso Cabrales	12	¥14	¥168
02 Singaporean Hokkien Fried Mee	10	¥98	¥980
03 Mozzarella di Giovanni	5	¥35	¥175
合計金額			¥440

マスター（親データ、受注ヘッダー）

OrderID	OrderDate	CompanyName	EmployeeName
10248	1996/07/04	Vins et alcools C...	EuchananSteven ...
10249	1996/07/05	Toms Spezialitäten	SuyamaMichael ...
10250	1996/07/08	Hanari Carnes	PeacockMargaret ...

詳細（子データ、受注明細）

OrderID	ProductName	Quantity	UnitPrice
10248	Queso Cabrales	12	14.0000
10248	Singaporean Hokkien ...	10	9.8000
10248	Mozzarella di Giovanni	5	34.8000
10249	Tofu	9	18.6000
10249	Manjimup Dried Apples	40	42.4000
10250	Jack's New England C...	10	7.7000
10250	Manjimup Dried Apples	35	42.4000
10250	Louisiana Fiery Hot P...	15	16.8000

作成手順

レポートを手動で作成するには、図2のようにVisual Studio .NET 2003のソリューションエクスプローラで「Reports」を右クリックして「追加」-「新しい項目の追加」をクリックする。「テンプレート」から「レポート」を選択し、任意のレポート名（請求書.rdlなど）を入力する。

次に「データセット」で「新しいデータセット」をクリックし、レポートの元データとして保持するデータソースを指定する（図2の②、ここではローカルマシン上のSQL ServerのNorthwindデータベースを選択）。すると、SQL文を直接入力するための「汎用クエリデザイナー」が表示されるので、図3のようにツールバーの「汎用クエリデザイナー」をクリックして「クエリビルダ」へ切り替える。これでGUIベースでSQL文を生成できるようになる。クエリビルダで請求書の元データとなるOrders（受注）テーブルとOrder Details（受注明細）テーブルを追加し、表1の列データを取得する。

本来ならCustomers（顧客）やEmployee（社員）、Products（商品）テーブルを追加して顧客名/社員名/商品名などを取得すべきだが、ここでは説明を簡単にするために省略する。

次に「レイアウト」タブを開き、図4のようにツールボックスから「一覧」をレポート上へドラッグ&ドロップする。一覧は、データセットで取得したデータを件数分だけ繰り返し表示させるためのものだ。一覧のプロパティを開き、データセット名で図3で作成したデータセットの名前（デフォルトはデータベース名）を指定する。また、「グループの詳細を編集」をクリックし、グループ化の条件で「=Fields! OrderID.Value」を選択する。これで、受注IDごとにグループ化できるようになる。

ツールボックスから図5のように「テキストボックス」を

表1：クエリビルダで取得する列データ

Ordersテーブル	Order Detailsテーブル
OrderID (受注ID)	ProductID (商品ID)
OrderDate (受注日)	UnitPrice (販売単価)
CustomerID (顧客ID)	Quantity (数量)
EmployeeID (受注担当社員ID)	

必要な数だけ一覧内に配置し、「=Fields!列名.Value」という形式でOrderID、OrderDate、CustomerID、EmployeeIDといったマスター情報を上部に配置する（本来なら顧客名/

図2：手動でレポート作成、データソースの指定

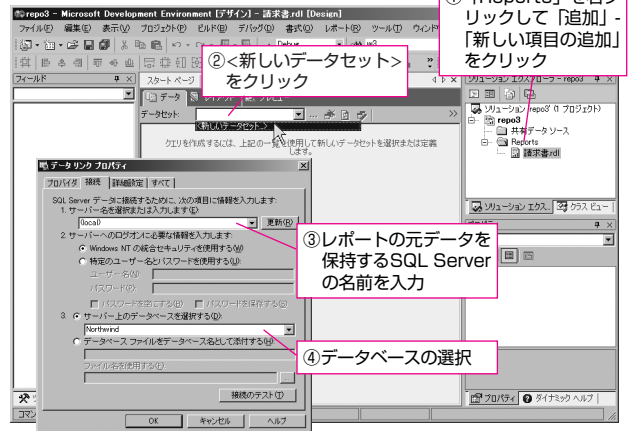


図3：汎用クエリデザイナーをクエリビルダへ切り替え

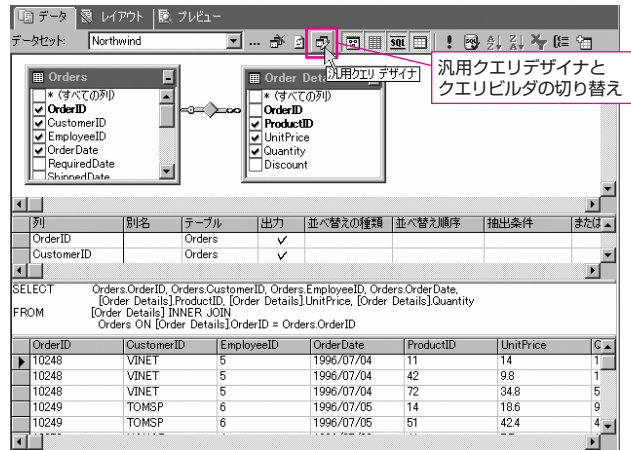


図4：一覧を貼り付け、OrderIDでグループ化を設定

